

# 第4章 管理運営

## 1. 管理運営体制

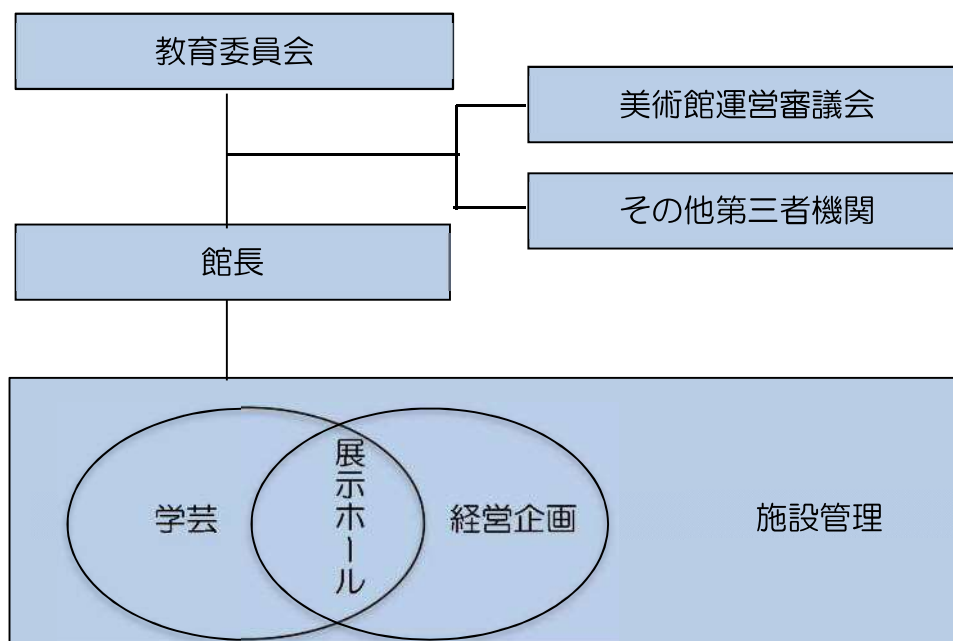
学芸部門の他に、経済効果を生み出す取り組みを行う経営企画部門の設置が望まれます。

経営企画部門では、展示ホールの活用やものづくりのプロジェクト等を経営的な視点を含めて管理運営、情報発信を行います。

学芸部門では、収集、保存、調査研究活動等を行います。展示企画に関しては、学芸部門と経営企画部門がバランスをとりながら、アートエリア、イベントエリアを連携して多角的かつ斬新な視点で事業を展開していきます。

また、美術館の運営等について調査・審議するために、附属機関として美術館運営審議会を教育委員会のもとに設置します。さらに、寄贈寄託作品の選考や事業評価を行う第三者機関等を設置します。

### ■ 管理運営体制イメージ



## 2.各部門の役割・人材

想定される各部門のスタッフの役割、求められる人材等については、下記のとおりです。

### 【館長】

各部門の業務をとりまとめ、館の運営を統括する役割を担います。他の市営施設との連携や民間との協力を含め、館の運営を多角的に行います。専門知識と民間の経営センスを持ち、マーケティングや広報の能力を備えた人材を抜擢します。

### 【学芸部門】

#### ■ 調査・研究・ライブラリー／収集・保管

寄贈寄託作品を中心とした収集・保管、作品や作家、寄贈者、時代背景などに関する調査・研究を行い、成果を展示企画や運営に反映させます。スタッフには、川口に根ざした幅広いアートの専門知識と企画力、コミュニケーション能力が求められます。

#### ■ 教育普及・ワークショップ

アトリアを中心に、教育普及、ワークショップ等の事業を行います。市民と美術館をつなぐコーディネーターの役割を担い、教育機関、ボランティア、地元アーティスト等と連携し、地域にアートの魅力を広げる活動を行います。実践的な行動力を備えた人材が必要です。

### 【経営企画部門】

#### ■ 産業とアートのコーディネート

(ものづくりプロジェクト・産業コーディネーター・ミュージアムグッズ)  
地元アーティストやものづくりの匠のサーチとデータベース化、企業や団体、市民とのマッチングを通し、新たなものづくりビジネスにつなげる役割を担います。マーケティングに長け、コーディネーターとしてクリエイティブな支援を行える人材が必要です。

#### ■ 展示ホール、アートカフェ・レストラン

事業目標をもって展示ホールの経営戦略を企画します。市民への施設貸し出しや、主催イベント、展覧会等の企画を通じて、経済効果のある収益事業を行います。来館者や多くの市民が利用できるアートカフェ・レストランの管理も行います。経営力のある人材が求められます。

## ■ 情報発信

様々な媒体を通じた戦略的な広報活動や、ホームページの制作運用等、積極的なPR業務を行います。美術館に関する情報だけでなく、市内のアート活動を含めた情報を発信します。

## 【管理部門】

受付、発券、監視等、来館者対応業務の他、施設の維持管理や貸出等の業務を行います。利用者の利便性向上と、長期的視点からの安定的で適切な施設の維持管理体制を確保します。

### **3.検討項目**

管理運営に関する主な検討項目は以下の通りです。

#### **運営コストの削減**

- ・民間活力の導入等を検討し、施設のクオリティを下げずに運営コストの削減を検討します。
- ・高効率の設備機器を選定し、光熱水費の削減に努めます。
- ・有料イベントの開催や展示ホールの貸出等、収益イベントの開催を検討します。
- ・所有資産を活用した稼ぐ文化を実践します。

#### **美術館の信頼性の確立**

- ・寄贈・寄託先として信頼される美術館となるため、本市及び市民の貴重な財産である所蔵作品を適切な管理のもと、将来にわたり長期的に保管できるよう、安定的で持続的な運営を検討します。

#### **研究・学芸部門の持続性確保**

- ・学芸部門が持続的な研究を行うことができ、貴重な資料が蓄積できる環境作りを検討します。
- ・専門性の高い優秀な学芸員の獲得と、育成のための環境（処遇やネットワーク）を整えます。

#### **他の市営施設・学校との連携**

- ・他の市営施設や、市内学校と連携を図ります。
- ・アートイベントの創出等、本施設を中心とした地域包括的な事業展開を検討します。

#### **地元アーティスト等と企業・団体との連携**

- ・市内企業や団体のネットワークを活用し、地元アーティスト等とのマッチング等により、市内経済の活性化につながる取り組みを行います。